



# TKI



## 登美高 国際交流通信 第3号

奈良県立登美ヶ丘高校  
国際教育部 編集  
2019年7月発行

### メガヒット曲が出なくなったことと異文化理解

～神戸大学 岡田 浩樹先生のお話より引用～

音楽をダウンロードで買うようになってから、メガヒット曲が出にくくなりました。これは自分の好きなジャンルの曲だけ検索し、その他のジャンルを全く聞かなくなったことと関係があるようです。テレビやラジオしかなかった時代は、一方的に情報を受け取る、つまりいろいろなジャンルの曲に出会うチャンスがあったと言えます。期せずして自分の守備範囲以外のいわば、「異文化」に触れる機会があったのです。

文化人類学では、「異文化」を生で体験し、肌で感じる事が重要視されます。海外では日本人として理解しがたいことに出会うでしょう。そこで「彼らとはわかり合えない」と決めつけるのではなく、異文化とはわからないものであるからこそ、自分たちのやり方が本当にいいのかから考え、相手のフィールドに飛び込んでほしいと思います。頭と体を使って「なぜだろう」と考えることが相互の異文化理解を深めることにつながるのです。

## 高校生の海外長期留学について

皆さんの中には、高校で1年間の海外留学を考えている人もいないのでしょうか。留学の手続きはどうしたらいいのか、本当に自分も留学できるのか、いろいろな疑問があると思います。今回は、「留学」について簡単に紹介をしたいと思います。

まず、高校留学の出発時期、北半球のアメリカやカナダの高校は、前期と後期のセメスター制で、1学期は9月から、2学期は2月から始まり、6月末から8月の間が夏休みというのが一般的です。イギリスの場合は3学期制で、秋学期が9月に始まり、春学期が1月から、夏学期が4月からで、7月～8月が夏休みになります。南半球のオーストラリアやニュージーランドはクォーター（4学期）制で、1学期は1月に始まり、2学期は4月から、3学期は7月から、4学期は10月からで、11月に終了します。

次に留学の準備はいつから始めたら良いのでしょうか。留学の準備は少なくとも1年前、できれば1年3ヶ月～6ヶ月ほど前から始めるのが理想です。また多くの学校がTOEFLや規定の英語力診断テストの試験結果の提出を要求しますので、英語力をアップさせる準備期間も必要です。

それでは、留学開始までのスケジュールはどうでしょう。以下に日本国際交流振興会（JFIE）の交換留学を例に流れをみてみましょう。

- 資料請求(電話やインターネットを通して)
- 説明会(無料)またはカウンセリング(無料)に参加
- 留学プログラムの出願と選考料の振込み
- 一次選考:書類選考
- 二次選考:英語力診断テストと面接(本人・保護者)
- 合否発表:留学手続き開始・プログラム参加費用総額の一部(中間金)を納入

<出発3～4カ月前>

- 渡航手続き開始(ビザ)
- 留学準備:オリエンテーションに参加(本人・保護者)

<出発約1カ月前>

- 渡航準備:オリエンテーションに参加(本人)・プログラム参加費用の残額を納入
- ホストスクール&ホストファミリー決定
- 出発:交換留学スタート



留学から帰国後はどのような変化があるのでしょうか。JFIEの調査によると、日本から離れて1年間過ごすことで自分ができることや将来本当にやりたいことが明確になり、受験勉強に対する考え方が変わったと多くの高校生が回答しています。留学によって英語の成績が上がるだけでなく、留学前は「英語」しか頭になかったのが、留学後には「英語を使えることは当たり前」になり、「英語を使って何をしたいか」という将来のビジョンまで描けるようになるそうです。

今回は、留学について焦点を当ててみましたが、1年間の留学の他に、学期留学(約10週間)というものもあり、人気だそうです。要は、現状に満足せず、新しいことに、新しい場所に飛び込んでみるのが大切なのかも知れません。この夏休み、自分の日常と違う「異文化」の世界に足を踏み入れてみませんか。  
(国際教育部)